

教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和3年12月23日(木) 午後2時～午後3時30分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟4階中会議室
- 3 出席者 1番 高橋 雄幸君 2番 村上 恵宏君
 4番 沼田 芳美君 5番 遠山 泰範君
- 4 参 与 教育部長 岸 弘美 次長兼教育総務課長 相澤 和夫
 教育指導課長 多田 真由美 生涯学習課長 杉山 宏生
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 太田 靖久 主事 松岡 翔太
- 6 会議の経過

教育長：ただ今から伊東市教育委員会12月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

教育長：それでは議事に入る。始めに8月定例会及び9月定例会会議録の確認を行う。修正点等はあるか。

(意見なし)

教育長：会議録を原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

教育長：承認が得られたので、8月定例会及び9月定例会会議録は原案どおり決定する。会議録の署名は村上委員にお願いする。次に教育長報告を行う。12月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

11月29日 市町対抗駅伝競走大会結団式、市長答弁調整

30日 議会本会議（一般質問）、重岡建治氏カレンダー寄贈

12月 1日 議会本会議（一般質問）

2日 議会本会議（一般質問）

- 3 日 議会本会議、市町対抗駅伝競走大会出発式
- 4 日 第22回静岡県市町対抗駅伝競走大会
- 5 日 伊豆のODORIKOフェスティバル
- 6 日 議会福祉文教委員会
- 7 日 令和4年度予算枠配分内示、
体育協会市町対抗駅伝大会報告会
- 8 日 東小学校施設見学
- 9 日 予算編成市長ヒアリング、富士山カレンダー寄贈（筒井氏）
- 10 日 予算編成市長ヒアリング
- 12 日 伊東ライオンズクラブ60周年記念式典
- 13 日 伊東市子ども・子育て会議、文化財管理センター訪問、
伊東国際交流協会来庁
- 14 日 男女共同参画講演会、杵太郎会役員来庁
- 15 日 議会本会議（最終日）、土地利用対策委員会
- 16 日 放課後児童クラブ訪問（旭、西、宇佐美、南）、
有馬徹ノーチェ・クバーナ67周年記念音楽公演
- 17 日 市芸術祭表彰式、姉妹都市交換文芸作品表彰式、
善行賞審査会、読み聞かせボランティア「どんぐりころころ」
優秀実践団体受賞に係る市長訪問
- 18 日 MOA美術館伊東市児童作品展特別表彰式
- 20 日 放課後児童クラブ訪問（大池、池、八幡野、富戸、東）、
「よさこいソーズラ」伊東実行委員会より寄附金贈呈
- 21 日 統合地域協議会
- 23 日 教育委員会定例会、市長・教育委員との懇談会、

教育委員会新規採用職員配属先伝達

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

(報告なし)

教育長：それでは、議題に入る。始めに、議決事項、教議第11号「令和2年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書について」を議題とする。

(事務局から資料に沿って説明)

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：学識経験者の意見は、今後の課題となる適切な意見を出してもらっていると思った。第三者的に見ていただいております、わかりやすい。新しい発想で考え直す必要などを思っている、うまくいかなかったりすることがある。外部経験者から指摘され、なるほど、とうなずける内容も多くあった。

委員：GIGAスクールについて、整備面では国の補助もあり、評価がAになっている。以前にも話したが、独自の先進的な教育方針や、タブレット端末を持ち帰っての授業の進め方など中身の評価、設備の活用についての評価が必要だと思うが、その点がどうなっているか。もう一点、川奈小の備品の取り扱いについて混乱があったという説明があったが、具体的にはどういった問題だったのか。

事務局：ICT教育の評価について、全体的な教育目標はあるが、具体的な活用についての項目はないため、来年度以降の評価の中に入れていきたい。2点目の川奈小の備品の取り扱いについて、川奈小の備品を欲しいという学校があった。備品は、保管転換といって、どこで管理をしているか、書類を作成する必要があるが、備品もかなりの数があるので、教育総務課と各校事務とのやり

とりがうまくいかなかった。今後３校統合では、備品数も増えるので、学校に迷惑をかけないように、スムーズにやっていきたい。川奈小では、廃棄備品も多くあったが、それについても全て書類を作ることが大変という意見もあったが、市のルール上省くことはできなかった。ルールと事務の簡素化の調整がうまくできなかったこともあった。学校側に負担をかけないようなやり方を、今後検討していきたいと思う。

委員：小学校の規模と配置の適正化について、川奈小と南小が一つのモデルケースになってくるので、アンケートを行うことは、すごくいいなと思った。どのような変化があったか、子どもたちがどのように感じているか気になった。また、通学路については本当に大変だが、安全面で大切なことだと思った。また、あまり直接的なことではないが、首都圏の方から伊東の食材に魅力を感じ、来ていただいているというのは、本当に同感する。自分も幼いころは魚が嫌いだったが、大人になり、県外の方に贈るとすごく喜ばれる。そういう素晴らしい土地ににいるということを実感できるのは、すごくいい取り組みだと思う。

教育長：ご意見ということで承る。

教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：それでは、この件について確認する。教議第１１号「令和２年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書について」は、原案どおり承認してよろしいか。

（異議なし）

教育長：委員の皆様から承認が得られたので、教議第１１号については原案どおり決定した。以上で議決事項を終了する。次に報告事項に入る。教報第１９号「令和４年度教職員人事異動の重点について」を議題とする。

(多田教育指導課長から資料に沿って説明)

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：「3 機能的で活力ある組織づくり」の(2)に「年齢構成」とあるが、小中学校の先生の年齢構成に、偏りなどはあるのか。

多田教育指導課長：数年来、ワイングラス型という中堅教員が非常に少ない傾向にあったが、最近になり30代の教員が増えてきた。40代は少ない傾向にある。伊東市の傾向として、伊東出身の教員が少なく、他地区出身の初任者を多く採用をしている。20代、30代は多いが、2校5年ぐらいを経験すると、地元の地域に帰ってしまう傾向がある。

委員：伊東の人がもっと応募するようになったり、他地区から来ている人が伊東にずっと住みたいと思うようになったりする工夫ができたらいいなと思うが、いかがか。

多田教育指導課長：伊東の子に教員を志望してもらえよう、高校生に教師体験をしてもらうことがあった。4年前には東小で高校生を受け入れている。また、採用試験に受からないという事情に対して、臨時講師を対象に教頭会が勉強会を開いている。教員の志望者や採用者が増えるような取り組みはしているが、やはり子どもたちの目の前で働く先生たちが生き活きと、楽しく働くことが一番だと思う。子どもたちに毎日疲れた顔を見せていると、教師に対する憧れがなくなってしまうので、まず、教員の心身の健康を、生き活きと働く姿を子どもたちに見せていきたい。

教育長：他地区から伊東に来たいという先生が増えるように、何かやっていけないといけないと考えている。例えば、市の方では、「『はじめよう伊東新生活』応援事業」という事業があり、医療職や福祉職に引越し代や住居手当を出すという制度があるが、その制度に教員は入っていない。制度利用者も増えて

いると聞く。伊東を選んでもらうよう、一番は伊東出身の人がいいが、他地区の人が、伊東に行きたい、先生をやりたいという魅力を作らなければならない。

6、7年経験をして、これからが充実し、授業も上手になったところで、帰られてしまうケースが多いと思う。そこは課題と捉えている。

教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

教育長：次に、教報第20号「伊東市立幼稚園の貸し出しについて」を議題とする。

(**岸教育部長**から資料に沿って説明)

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

教育長：次に、教報第21号「教育財産の取得について」を議題とする。

(**杉山生涯学習課長**から資料に沿って説明)

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

教育長：以上で報告事項を終了する。次に、その他「市議会12月定例会の報告について」を議題とする。

(**岸教育部長**から資料に沿って説明)

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：家庭学習用モバイルルーターの購入とあるが、これはインターネット環境のない生徒に貸し出すということか

相澤次長兼教育総務課長：将来的には、それを視野に入れながら、今後整備をすることになる。校舎に無線LAN整備を行ったが、一部の特別教室で無線LAN整備がされてない箇所がある。このモバイルルーターは、当面、学校内の

足りない場面で活用していただく。将来的、また緊急的に休業等が起きた場合は、インターネット環境のない家庭に対して貸し出す方向で今回整備させていただいた。

委員：つまり、学校の中の足りない部分の補填という形から活用を広げていくということか。

相澤次長兼教育総務課長：はい。

委員：台数も全児童の分ではないのか。

相澤次長兼教育総務課長：はい。当面、小中学校で計１００台を予定している。インターネット環境が整っていない家庭が、令和２年度調査で約６パーセントあると報告を受けている。今はもう少し家庭での整備が進んでいるかと思う。

教育長：補正予算では、競輪事業から１億円を教育に、ということで頂いている。本来であれば、市でもいろいろ使いたい部分があると思うが、市長部局に配慮していただいて、本当にありがたい。

教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：次に、その他「各課報告について」を議題とする。

相澤次長兼教育総務課長：２点報告する。まず、令和３年度伊東市教育機関職員採用試験について、採用内定者１名から辞退申し出があり、採用内定者は３名となった。家庭での話し合いの結果、辞退したいとのことである。次に、東・西・旭小学校三校統合に関する進捗状況を報告する。本日、新聞報道にもあったとおり、今月２１日に統合地域協議会が開催された。委員の皆さんに、協議会で配布した資料をお配りしており、細かい点については、目を通していただければと思う。大きな協議結果として、２点報告する。まず、校名校歌を決定し、校章については公募することが決まった。元々この三校の始まりが伊

東尋常高等小学校であり、そこから東小と旭小が分かれている。その歴史を踏まえ、分かれたものが一つになるということで、校名については、伊東市立伊東小学校とした。校歌については、伊東尋常高等小学校の校歌を、西小がそのまま引き継いでいるので、これを継承する。これを統合地域協議会の総意として決定した。また、校章については、公募の承認をいただいた。今後、三校児童や市民にも広報する予定でいる。来年5月末には、公募による審査を行って、決定していきたいと考えている。今回の決定は、統合地域協議会における決定であり、特に校名については、伊東市立学校設置条例に規定されているので、教育委員会で議決をいただき、市議会で条例改正として、正式に決定することになる。校歌校章は、教育委員会と総合教育会議において、決定していきたいと考えている。次に、スクールバスの導入について報告する。現西小、旭小の希望者全員の乗降を前提に考えている。バス会社に運行ルートや必要台数の算定を依頼している。今回、事務局が仮の乗降場所を想定し、進めさせていただいた。協議会の委員から様々な意見を頂き、それを踏まえた見直しと協議を進め、合意を図っていきたい。また、東小学校校舎の改修についても、先ほど説明した補正予算の中で、改修を行っていきたい。

多田教育指導課長：教育指導課から生徒指導について報告する。まず、問題行動については、小学校では若干減少した。中学校で対人関係理由などの今までなかった問題行動が見られた。学校だけでは解決しにくい社会的な支援が必要な家庭が目立ってきたので、関係機関との連携が必要であると考えている。また、誰がやったかわからないケースがあり、十分注意しなければならないと思っている。中学校で、タブレット端末に関連した授業妨害があった。タブレット端末でからかい、ふざけあいの言葉を書き込んでいた。使わないときのロックを教師がしていなかったのも、教師側にも注意した。児童生徒の方が教師よ

りも、いろいろな機能について分かっているので、教師のICT活用能力も向上させないといけないと考えている。次に、いじめについては、ふざけ、からかいもいじめとして認知しており、なかなか解消に向かっていかない案件も増えている。謝罪をしたから終わりということではなく、心のわだかまりがなくなるところまで注視していかなければならないと考えている。不登校については、どの校長も課題に挙げている。現在、適応指導教室は学校復帰だけを目的とするのではなく、社会的自立を目指しており、そちらへの促しも行っている。徐々に適応指導教室へ通う児童生徒が増えてきた実感がある。特に小学生が増えており、適応指導教室の機能充実を図っていく必要があると感じている。

岸教育部長：幼児教育課長に代わり、2点報告する。まず、25年ぶりに調理員の採用を市で行った。配置場所は保育園の調理員になっている。25年間調理員を採用していないので、ほとんどの調理員が退職する年代になっている。当面、まず1月1日付けで2人、4月1日付けで2人、計4人を採用することが決定した。次に、先月の定例会で委員から提案のあった中堅幼稚園教諭との懇談会について、1月下旬に中堅職員との懇談を実施するとのことで、報告させていただきます。

杉山生涯学習課長：成人式について報告する。

（杉山生涯学習課長から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：幼児教育課で中堅教員の懇談会を設定していただき、ありがとうございます。元気な意見がたくさん聞ければよいと思う。もう1点、こども園への移行提案という記事が新聞に載った。その中に記載のあった子ども子育て会議11人の委員について、教えていただければと思う。

岸教育部長：子ども子育て会議は、年2回行っており、私が座長を務めている。

今、会議録を含めて幼児教育課で取りまとめているので、次回の定例会で資料を見ていただいて、ご意見いただければと思う。

委員：問題行動を繰り返し起こしてしまう特定の子の場合、どのような対応を行っているのか。

多田教育指導課長：主に福祉に繋いでいる。連携をしているスクールソーシャルワーカーに相談し、各学校にいろいろな関係の方に来ていただいて、検討会開催している。また、家庭に対してのアプローチなど、学校から行いづらいことを福祉の方から行ってもらっている。子育て支援課や社会福祉課が入って、家庭の支援等をしていただいている。医療面で保護者に納得してもらうことなど、部分的に難しい分野もある。

委員：該当の子もいろいろなものを抱えているのだと思う。周りの子もいろいろな思いしていると思うと、どんなことができるのかなと思った。

教育長：幼稚園の先生から1人の辞退者が出た。今年は募集活動を頑張ったので、4月まで辞退がないことを願うばかりだ。採用試験で落ちてしまった人も、しっかりした人だという印象があったので、補欠にしておけば来てくれたのではないかと思い、補欠制度の必要性も考えている。法的にどうなのかという部分はクリアする必要があるが、勿体ない気がする。今後も幼稚園職員採用では、辞退者が出る状況が続くのではないかと感じ、難しい問題だと思っている。成人式は、例年、教育委員の皆さんにも、出席していただいているが、今年はコロナ禍にあって、出席はないが、報告はしたいと思っている。生涯学習課がいろいろなパターンを考えて、やってきた。申し込みも葉書からインターネットで出来るようにし、集計等もやっている状況になる。成人式は、いろいろな団体の協力を得ながら、厳粛で温かみのある式になればと思っている。

教育長：その他全般的に、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

教育長：今後の日程について確認する。

事務局：1月の定例会については、1月20日（木）午後2時30分を予定している。2月の定例会については、2月15日（火）を予定とする。2月定例会後に総合教育会議を実施したい。

教育長：以上で伊東市教育委員会12月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委 員 村上 恵宏

書 記 松岡 翔太